

第2次みどりの風吹くまちビジョン（練馬区版総合戦略）に係る
数値目標および重要業績評価指標
〔改定版〕

令和4年（2022年）3月

練馬区

はじめに

平成26年11月に制定された「まち・ひと・しごと創生法」により、地方公共団体は、国の長期ビジョン・総合戦略を踏まえて、地方版総合戦略を定めることが求められています。また、国は地方版総合戦略について、「基本目標における数値目標」と「具体的な施策ごとの重要業績評価指標（KPI）¹」を設定し、P D C A（Plan・Do・Check・Action）サイクルを通じた客観的な効果検証を行うことを求めています。

区は「第2次みどりの風吹くまちビジョン（基本計画）」および「アクションプラン（戦略計画・年度別取組計画）」をあわせて地方版総合戦略と位置づけ、「第2次みどりの風吹くまちビジョン（練馬区版総合戦略）」に係る数値目標および重要業績評価指標」を令和元年7月に設定しました。

令和4年度、5年度の2か年の取組を定める「改定アクションプラン」および「年度別取組計画」の策定にあわせて、「重要業績評価指標」を改定しました。

【数値目標・KPIの設定にあたっての考え方】

基本目標における数値目標は、ビジョンの6つの施策の柱ごとに設定しました。

KPIはアクションプランの22の戦略計画ごとにアウトプット指標²とアウトカム指標³を設定しました。

1 重要業績評価指標（KPI：Key Performance Indicator）

...施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標

2 アウトプット指標... 行政活動そのものの結果を表す指標

3 アウトカム指標... 施策や事業の実施により発生する効果・成果（アウトカム）を表す指標

【表の見方】

基本目標	子どもたちの笑顔輝くまち
数値目標 (令和5年度末)	「子育て支援」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) :平成30年度調査結果の62.1%から上昇 「学校教育」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) :平成30年度調査結果の59.1%から上昇
基本的な方向性	<p>子育ては誰が担うべきか、様々な考え方や価値観が存在しますが、最も尊重されるべきことは、それぞれの家族の思いです。家庭で子育てがしたい、子どもを預けて働きたいなど、多様化する子育てサービスのニーズに応える施策を展開することで、子育てのかたちを選択できる社会を実現します。</p> <p>教育分野においては、令和3年3月に改定した「練馬区教育・子育て大綱」の目標である「夢や目標を持ち困難を乗り越える力を備えた子どもたちの育成」の実現を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育サービスを更に充実させ、保育所待機児童ゼロを継続する。 ・保護者が子育ての悩みを安心して相談できる体制を充実する。 ・都と区の連携による児童相談体制を充実・強化する。 ・全ての小学生が安心して過ごせる放課後の居場所をつくる。 ・児童生徒一人ひとりに応じた、きめ細かな指導や支援を行う。

戦略計画	重要業績評価指標 (K P I)		
	指 標	現 状 値 原則：令和3年度末	目 標 値 (原則：令和5年度末)
計画1 子育てのかたちを選択できる社会の実現	外遊び型子育てのひろば(おひさまびよびよ)増設	計7か所	計8か所
	練馬こどもカフェの充実	計6か所	計8か所
	認可保育所の増設	計197所 〔定員16,780人〕 (令和4年4月1日現在)	計206所 〔定員17,341人〕 (令和6年4月1日現在)
	練馬こども園の認定	計25園	計27園
	保育所等入所希望者受入率	100% (令和4年4月1日現在)	100% (令和6年4月1日現在)
計画2 子どもの成長に合わせた切れ目のないサポートの充実	外遊び型子育てのひろば事業(おひさまびよびよ)相談員の配置	計7か所配置	計8か所配置
	産後ケア事業の充実	実施	充実 〔利用可能日数(回数)の増〕
	(仮称)ねりま子育て支援アプリの構築		構築
	子ども家庭支援センターの専門職員の増員	心理8人、福祉26人、保健師4人、会計年度任用職員相談員10人	増員
	練馬区虐待対応拠点における都児童相談センターとの連携強化	設置	連携強化
	子ども家庭支援センターの相談件数	年間9,532件	増加

「現状値」欄

:原則として、令和3年度末の状況を表示しています。それ以外の時点の数値については、時点を表示しています。

「目標値」欄

:原則として、令和5年度末の目標値を表示しています。それ以外の時点の数値については、時点を表示しています。

基本目標	子どもたちの笑顔輝くまち
数値目標 (令和5年度末)	「子育て支援」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) :平成30年度調査結果の62.1%から上昇 「学校教育」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) :平成30年度調査結果の59.1%から上昇
基本的な方向性	<p>子育ては誰が担うべきか、様々な考え方や価値観が存在しますが、最も尊重されるべきことは、それぞれの家族の思いです。家庭で子育てがしたい、子どもを預けて働きたいなど、多様化する子育てサービスのニーズに応える施策を展開することで、子育てのかたちを選択できる社会を実現します。</p> <p>教育分野においては、令和3年3月に改定した「練馬区教育・子育て大綱」の目標である「夢や目標を持ち困難を乗り越える力を備えた子どもたちの育成」の実現を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育サービスを更に充実させ、保育所待機児童ゼロを継続する。 ・保護者が子育ての悩みを安心して相談できる体制を充実する。 ・都と区の連携による児童相談体制を充実・強化する。 ・全ての小学生が安心して過ごせる放課後の居場所をつくる。 ・児童生徒一人ひとりに応じた、きめ細かな指導や支援を行う。

戦略計画	重要業績評価指標 (K P I)		
	指 標	現 状 値 原則：令和3年度末	目 標 値 (原則：令和5年度末)
計画1 子育てのかたちを選択できる社会の実現	外遊び型子育てのひろば(おひさまびよびよ)増設	計7か所	計8か所
	練馬こどもカフェの充実	計6か所	計8か所
	認可保育所の増設	計197所 〔定員16,780人〕 (令和4年4月1日現在)	計206所 〔定員17,341人〕 (令和6年4月1日現在)
	練馬こども園の認定	計25園	計27園
	保育所等入所希望者受入率	100% (令和4年4月1日現在)	100% (令和6年4月1日現在)
計画2 子どもの成長に合わせた切れ目のないサポートの充実	外遊び型子育てのひろば事業(おひさまびよびよ)相談員の配置	計7か所配置	計8か所配置
	産後ケア事業の充実	実施	充実 〔利用可能日数(回数)の増〕
	(仮称)ねりま子育て支援アプリの構築		構築
	子ども家庭支援センターの専門職員の増員	心理8人、福祉26人、保健師4人、会計年度任用職員相談員10人	増員
	練馬区虐待対応拠点における都児童相談センターとの連携強化	設置	連携強化
	子ども家庭支援センターの相談件数	年間9,532件	増加

戦略計画	重要業績評価指標 (K P I)		
	指標	現状値 原則：令和3年度末	目標値 (原則：令和5年度末)
計画3 すべての小学生を 対象に放課後の居 場所づくり	ねりっこクラブの実施	計37校	計52校
	学童クラブにおける障害 児等受入れ体制の充実	障害児受入枠290人 (令和4年4月1日現在)	充実
	ねりっこ学童クラブ入会 希望者受入率	97.5% (令和4年4月1日現在)	増加
計画4 夢や目標を持ち困 難を乗り越える力 を備えた子どもた ちの育成	教員用タブレットパソコ ンの配備	全児童生徒へタブレット パソコンの配備	配備
	英語4技能検定の実施 中学2年生 小学6年生	実施	実施 実施
	地域未来塾の拡大	実施 〔79校〕	拡大
	ICTを活用して指導でき る教員の割合 (文部科学省「学校にお ける教育の情報化の実態 等に関する調査」により 測定)	87.7%	増加

基本目標	高齢者が住みなれた地域で暮らせるまち
数値目標 (令和5年度末)	「高齢者福祉」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) :平成30年度調査結果の62.7%から上昇
基本的な方向性	<p>介護保険施設等の整備や医療と介護が連携した在宅療養ネットワークの構築に取り組むとともに、高齢者一人ひとりに合ったサービスを提供することで、住み慣れた地域での暮らしを支えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターをより身近で利用しやすい窓口にする。 ・オンラインを活用した介護予防・フレイル予防事業を展開する。 ・高齢者一人ひとりの健康課題を解決する「高齢者みんな健康プロジェクト」を充実する。 ・高齢者や家族が安心して暮らせるよう、高齢者の見守り体制を強化する。 ・介護保険施設等を着実に整備するとともに、在宅サービスを充実する。 ・働く意欲がある高齢者が、元気に働き続けられる機会を増やす。 ・高齢者が長年培ってきた知識・経験等を活かした地域活動を応援する。

戦略計画	重要業績評価指標 (K P I)		
	指 標	現 状 値 原則：令和3年度末	目 標 値 (原則：令和5年度末)
計画5 高齢者地域包括ケ アシステムの確立	地域包括支援センターの 増設	計25か所	計27か所
	担当区域見直し		担当区域見直し 〔練馬・大泉圏域〕
	高齢者在宅生活あんしん 事業の利用者数	年間2,059人	年間2,500人
	もの忘れ検診の実施	開始	実施
	特別養護老人ホームの施 設数	計34施設 〔定員2,434人〕	計38施設 〔定員2,878人〕
	練馬福祉人材育成・研修 センターの利用者数	年間2,969人	年間3,700人
	地域包括支援センターの 相談件数	年間226,666件	増加

戦略計画	重要業績評価指標 (K P I)		
	指標	現状値 原則：令和3年度末	目標値 (原則：令和5年度末)
計画6 元気高齢者の活躍 と健康づくり・介 護予防の推進	就職支援セミナー・ 職場体験の実施	実施	実施
	はつらつシニア活躍応援 塾の充実	実施 〔参加者数49人〕	充実 〔参加者数の増加〕
	「高齢者みんな健康プロ ジェクト」の充実 個別訪問事業等の充実	開始 〔訪問支援件数406件〕	充実 〔訪問支援件数の増加〕
	街かどケアカフェの充実 常設型 出張所跡施設活 用、敬老館の機能転換に よる開設	計5か所	計6か所
	はつらつシニアクラブの 参加者数	年間1,177人	年間1,800人
	はつらつシニアクラブの 実施箇所数	18か所	18か所
	オンラインツールを活用 した介護予防・フレイル 予防事業の充実	開始 〔年間参加者数958人〕	充実 〔参加者数の増加〕
	スマートフォン利用普及 啓発・活用支援の充実	開始 〔年間参加者数972人〕	充実 〔参加者数の増加〕
	要介護認定率 (第8期練馬区高齢者保 健福祉計画・介護保険事 業計画)	21.8% (令和3年9月末)	22.8%以下 (令和5年9月末)

基本目標	安心を支える福祉と医療のまち
数値目標 (令和5年度末)	「障害者福祉」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) :平成30年度調査結果の59.4%から上昇 「生活の安定に向けた自立支援」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) :平成30年度調査結果の60.7%から上昇 「医療環境の充実」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) :平成30年度調査結果の51.2%から上昇 「健康づくりの推進」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) :平成30年度調査結果の72.5%から上昇
基本的な方向性	誰もが安心して暮らせ、未来に希望を持って生活できるまちの実現を目指し、福祉・医療サービスを一層充実させます。 <ul style="list-style-type: none"> ・障害者の暮らしを支える住まいの場や家族を支援する体制を確保する。 ・障害者が多様で柔軟な働き方ができる環境をつくる。 ・ひとり親家庭や生活困窮世帯等の自立を応援する。 ・新型コロナウイルスの対策を継続し、医療機関等との連携を強化する。 ・病床確保と医療機能の拡充に向けた取組を進める。 ・医師会、医療機関等と連携し、在宅医療の提供体制を充実する。 ・コロナ禍を乗り越える区民一人ひとりの健康づくりを応援する。

戦略計画	重要業績評価指標 (K P I)		
	指標	現状値 原則:令和3年度末	目標値 (原則:令和5年度末)
計画7 障害者が地域で暮らし続けられる基盤の整備	石神井町福祉園用地での重度障害者グループホームと一体となった「多機能拠点整備型」の地域生活支援拠点の整備	関係機関調整	石神井町福祉園除去工事〔完了〕 関係機関調整・設計
	練馬光が丘病院における医療型ショートステイの開始	調整	開始
	福祉施設等から一般就労した年間の障害者数	年間188人	年間210人
	就労定着支援事業の利用者数	年間138人	年間174人
	農福連携作業に携わる障害者施設数	計12施設	計14施設
	(仮称)練馬区障害者の意思疎通に関する条例の制定	検討	条例の制定
	障害児一時預かり支援事業の実施	検討	実施〔利用者数延600人〕
計画8 ひとり親家庭や生活困窮世帯等の自立を応援	ひとり親家庭自立応援プロジェクトの充実	養育費確保支援事業の実施	支援策の充実
	生活困窮者への相談支援体制の充実	相談支援員計12名	相談支援員計14名
	中3勉強会の実施	年間80回	年間80回
	中3勉強会利用者の進路決定率	100%	100%

戦略計画	重要業績評価指標 (K P I)		
	指 標	現 状 値 原則：令和3年度末	目 標 値 (原則：令和5年度末)
計画9 感染症対応力の強化と安心して医療が受けられる体制の整備	練馬区感染症ネットワーク会議の充実	高齢者施設での研修 医療機関等との連絡会実施	充実
	病床の確保		
	練馬光が丘病院の移転・改築	342床	457床 〔115床増〕
	慈誠会・練馬高野台病院の整備	工事	218床
	練馬光が丘病院跡施設における複合施設の整備	基本設計 実施設計	工事〔一部〕
	練馬区医師会医療連携・在宅医療サポートセンターとの連携、事業の検討	実施	実施
人口10万人あたりの一般・療養病床数	人口10万人あたり 288床	人口10万人あたり 354床	
計画10 コロナ禍を乗り越える区民一人ひとりの健康づくりを応援	健康インセンティブ事業の実施		実施
	練馬健康管理アプリ「ねりまちてくてくサブリ」コンテンツの充実・アプリ周知の推進	充実	充実
	受診環境の整備 インターネット予約システムの導入	導入準備	実施
	順天堂練馬病院がん相談支援センターとの連携事業の実施	実施	実施
	「ねりまちてくてくサブリ」の登録人数	19,910人	26,500人

基本目標	安全・快適、みどりあふれるまち
数値目標 (令和5年度末)	<p>「災害に強い安全なまちづくり」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) :平成30年度調査結果の55.2%から上昇</p> <p>「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) :平成30年度調査結果の57%から上昇</p> <p>「駅周辺のまちづくり」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) :平成30年度調査結果の50%から上昇</p> <p>「みどりの保全と創出」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) :平成30年度調査結果の76%から上昇</p> <p>「エネルギー政策の展開」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) :平成30年度調査結果の46.4%から上昇</p>
基本的な方向性	<p>著しく遅れている道路・鉄道などのインフラ整備を着実に進めていきます。あわせて、地震や豪雨災害による被害を最小限に抑えるため、地域ごとのリスクに応じた防災力を向上させる取組を進めます。国は、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「脱炭素社会」の実現を目指すことを表明しました。区は目標達成に向けて環境施策を総合的に展開するとともに、区民・事業者との協働を更に推進していきます。安全で快適な、みどりあふれるまちの実現を目指し、区民と手を携えながら積極的に取り組んでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の耐震化・不燃化や狭い道路の拡幅等、災害に強いまちづくりを進める。 ・流域対策を進めるとともに、河川や下水道の整備を東京都に要請する。 ・都市計画道路の整備、西武新宿線の連続立体交差化を着実に進める。 ・大江戸線の延伸の早期実現に向けて取組を進める。 ・公園や都市計画道路の整備により、みどりのネットワークを形成する。 ・区民とともにみどりを守り育むムーブメントの輪を広げる。 ・区民・事業者との協働により脱炭素の取組を推進する。

戦略計画	重要業績評価指標 (K P I)		
	指 標	現 状 値 原則：令和3年度末	目 標 値 (原則：令和5年度末)
計画11 地域の災害リスクに応じた「攻めの防災」	防災まちづくり推進地区における新防火規制区域の指定	合意形成	指定〔3地区〕
	一般緊急輸送道路沿道建築物等の耐震改修件数	計29件	計49件
	総合治水計画に基づく雨水浸透施設の設置工事の実施	計4か所	計8か所
	個別避難計画の作成	検討	作成
	地域別防災マップの作成	計3地区作成	計9地区作成
	防災訓練年間参加者数	23,868人	50,000人
	地域防災力の向上、安全・安心な地域づくりに対する満足評価	61.2%	増加

戦略計画	重要業績評価指標 (K P I)		
	指 標	現 状 値 原則：令和3年度末	目 標 値 (原則：令和5年度末)
計画12 みどり豊かで快適な空間を創出する交通インフラの整備	都市計画道路の整備着手率	約6割	約7割
	西武新宿線連続立体交差事業および側道整備事業		
	連続立体交差事業および側道整備事業(東京都施行)事業認可に向けた調整	都市計画決定	調整
	側道整備事業(練馬区施行)事業認可	都市計画決定	設計事業認可
	みどりバスの再編等による公共交通空白地域改善の推進	再編に向けた調整〔保谷・大泉・南大泉ルート〕	再編〔保谷・北町・氷川台ルート〕
みどりバスの乗車人数	年間878,354人	年間950,000人	
計画13 魅力にあふれ利便性に富んだ駅前と周辺のまちづくり	上石神井駅周辺地区のまちづくり 駅前のまちづくり	事業計画検討	事業計画検討支援 権利者組織の設立
	大江戸線新駅予定地周辺のまちづくり (仮称)大泉学園町駅予定地周辺のまちづくり	事業手法検討	事業計画検討
	石神井公園駅周辺地区のまちづくり 南口西地区市街地再開発事業	組合設立認可申請の調整	再開発事業施行支援
	「駅周辺のまちづくり」の施策に対する満足評価	52.0%	増加
計画14 練馬のみどりを未来へつなぐ	稲荷山公園の拡張・整備の着手	関係機関調整 基本計画策定	関係機関調整 実施計画策定
	大泉井頭公園の拡張・整備の着手	関係機関調整	関係機関調整 基本計画策定
	特色ある公園等の整備		4か所
	重要な樹林地の保全 都市計画決定	計6か所	計9か所
	個人のみどりを地域で守る活動の拡充	モデル事業実施〔3か所〕	本格実施
	「みどりの保全と創出」の施策に対する満足評価	76.0%	増加

戦略計画	重要業績評価指標 (K P I)		
	指 標	現 状 値 原則：令和3年度末	目 標 値 (原則：令和5年度末)
計画15 脱炭素社会の実現 に向けた総合的な 環境施策の展開	新たな環境基本計画の策定	策定準備	策定
	区民・事業者等との協働による環境教育・啓発の推進	実施	充実
	地域コジェネレーションの導入・運用	導入計1か所	導入計2か所
	環境に配慮した電力調達の拡大	小中学校98校 区立施設63施設	拡大
	「エネルギー政策の展開」の施策に対する満足評価	49.0%	増加

基本目標	いきいきと心豊かに暮らせるまち
数値目標 (令和5年度末)	<p>「区内企業の活性化・魅力のある商店街づくり」の施策に対する満足評価（区民意識意向調査） ：平成30年度調査結果の43.7%から上昇</p> <p>「都市農業の振興と都市農地の保全」の施策に対する満足評価（区民意識意向調査） ：平成30年度調査結果の66.1%から上昇</p> <p>「文化・生涯学習・スポーツの振興」の施策に対する満足評価（区民意識意向調査） ：平成30年度調査結果の60.3%から上昇</p> <p>「観光の推進」の施策に対する満足評価（区民意識意向調査） ：平成30年度調査結果の49.6%から上昇</p>
基本的な方向性	<p>中小企業支援、商店街振興、都市農業振興、文化芸術・スポーツ振興など、区民が暮らしに潤いや幸せを感じる、魅力あふれるまちを目指して取組を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業活動のデジタル化・商店街の賑わい創出に取り組む。 ・都市農業が持つ魅力と可能性を更に発信する。 ・農地の保全や区民が農に親しむ取組を充実する。 ・みどり豊かなまちと一体となった練馬独自の新しい美術館を創造する。 ・優れた文化芸術を楽しめる魅力的なイベントを展開する。 ・練馬の歴史を活かした映像文化のまちづくりに取り組む。 ・スポーツ施設の整備を進め、多くの人々がスポーツに参加できる機会を充実する。

戦略計画	重要業績評価指標（K P I）		
	指 標	現 状 値 原則：令和3年度末	目 標 値 （原則：令和5年度末）
計画16 地域特性を活かした企業支援と商店街の魅力づくり	創業セミナーの実施	実施 〔実施回数5回〕	実施
	若者向け創業セミナーの実施	実施 〔実施回数1回〕	実施
	デジタル化相談の実施		実施
	商談交流会の充実	年1回実施	年3回実施
	空き店舗活用支援事業の実施	商店街空き店舗実態調査実施	実施
	練馬ビジネスサポートセンターを利用した創業者数	年間46人	増加

戦略計画	重要業績評価指標 (K P I)		
	指 標	現 状 値 原則：令和3年度末	目 標 値 (原則：令和5年度末)
計画17 生きた農と共存するまち練馬	(仮称)全国都市農業フェスティバルの開催		開催
	生産緑地貸借制度を活用した農地保全	貸借件数計18件	貸借件数計22件
	認定農業者・都市型認定農業者の新規認定	計31経営体	計37経営体
	練馬果樹あるファームの開設・拡充支援	計30件	計40件
	認定農業者・都市型認定農業者のうち農業収入が増えた農業者数	年間76人	増加
計画18 みどりの中で優れた文化芸術を楽しむまち	美術館再整備基本構想に基づく設計	構想の策定	設計
	質の高い文化芸術の鑑賞機会の創出		
	真夏の音楽会の実施	実施	実施
	練馬新能の実施	実施	実施
	映像文化事業の実施	「映像文化のまち構想」策定 映像文化イベントの実施	実施
	真夏の音楽会、練馬新能の来場者数	年間709人	年間1,350人
計画19 みどりの中で誰もがスポーツを楽しむまち	石神井松の風文化公園におけるスポーツ施設の整備	整備内容決定	基本設計
	誰もがスポーツを楽しむ取組の地域展開	実施	実施
	練馬こぶしハーフマラソンの開催	中止	実施
	誰もがスポーツを楽しむ取組の地域展開参加者数	年間4,220人	増加

基本目標	区民とともに区政を進める
数値目標 (令和5年度末)	「窓口サービス等の利便性の向上」の施策に対する満足評価（区民意識意向調査） ：平成30年度調査結果の62.7%から上昇
基本的な方向性	<p>地域の現場では、町会・自治会をはじめ、NPO・ボランティア団体などが地域の課題をわが事として考え、自発的に活動する動きが広がりつつあります。こうした取組を、区政の広範な分野に拡げ、区政を「参加と協働」から「参加から協働へ」と深化させ、練馬ならではの住民自治を創造します。</p> <p>新型コロナの感染拡大防止と区民の更なる利便性向上のため、キャッシュレス決済やオンラインでできる手続きを拡大します。対面での対応が求められる場面では、一人ひとりのニーズに応じたきめ細やかな窓口サービスを提供します。</p> <p>コロナ禍において、テレワークやWeb会議など、デジタル技術の活用が急速に広がり、区民生活に不可欠となっています。区のDX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進し、区民サービスの質の向上と更なる業務効率化を実現します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会・自治会の活性化を促進する。 ・区民や団体と区が一体となった協働の取組を促進する。 ・来庁しなくても手続きができるサービスを拡大する。 ・区への支払いにおけるキャッシュレス決済を拡大する。 ・（仮称）お悔やみ窓口を設置する。 ・区のDX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進する。

戦略計画	重要業績評価指標（KPI）		
	指標	現状値 原則：令和3年度末	目標値 （原則：令和5年度末）
計画20 区民協働による住民自治の創造	町会・自治会のデジタル活用支援		実施
	町会・自治会の加入促進	実施	実施
	「練馬つながるフェスタ」の地域開催	実施〔6か所〕	実施〔6か所〕
	「つながるカレッジねりま」の充実	実施〔6コース〕	充実〔7コース〕
	「つながるカレッジねりま」の修了者数	計145名	計315名
計画21 窓口から区役所を変える	窓口情報提供システムの拡大	計18か所	計19か所
	各種証明書の発行手数料へキャッシュレス決済導入	検討	実施
	Web口座振替受付サービスの拡大	導入〔国民健康保険料〕	拡大〔住民税ほか4公金〕
	（仮称）お悔やみ窓口の設置	検討	設置
	窓口情報提供システムへのアクセス数	年間1,915,392件	増加

戦略計画	重要業績評価指標 (K P I)		
	指標	現状値 原則：令和3年度末	目標値 (原則：令和5年度末)
計画22 DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進	AI・RPA等の活用	拡充	拡充
	DX推進方針の策定	検討	策定
	専門技術員の増員	計1名	計2名
	デジタル人材育成プログラムの実施	検討	実施
	手続きのオンライン化の割合	19.1%	増加
	電子申請利用件数(東京共同電子申請・届出サービス)	52,428件	増加